

○ 朝来市土づくりセンターは、地元の牛ふん、鶏ふん、もみ殻を徹底した温度管理下で発酵させ(60日以上)作物に適した完熟堆肥を製造し、利用者に供給する資源循環の拠点。

■国内資源の種類

- ・牛ふん
- ・鶏ふん
- ・もみ殻

■肥料の種類・肥料名称

- ・種類：特殊肥料（堆肥）
- ・肥料名：
小袋(15kg)「ニューあさご有機」
フレコンバッグ、バラ

■作物

- ・水稻
- ・野菜
(岩津ねぎ、にんにく等)
- ・果樹
(朝倉さんしょ等)
- ・花き

■主成分の含有量(%)、特徴等

N	P2O5	K2O	C/N比	水分
1.7	2.1	2.5	12.9	43.9

(N、P2O5、K2O:現物中%)

- ・徹底した温度管理により
病原菌・雑草種子が死滅
- ・60日以上かけた完熟発酵堆肥



■取組の経緯・内容・成果

取組の経緯

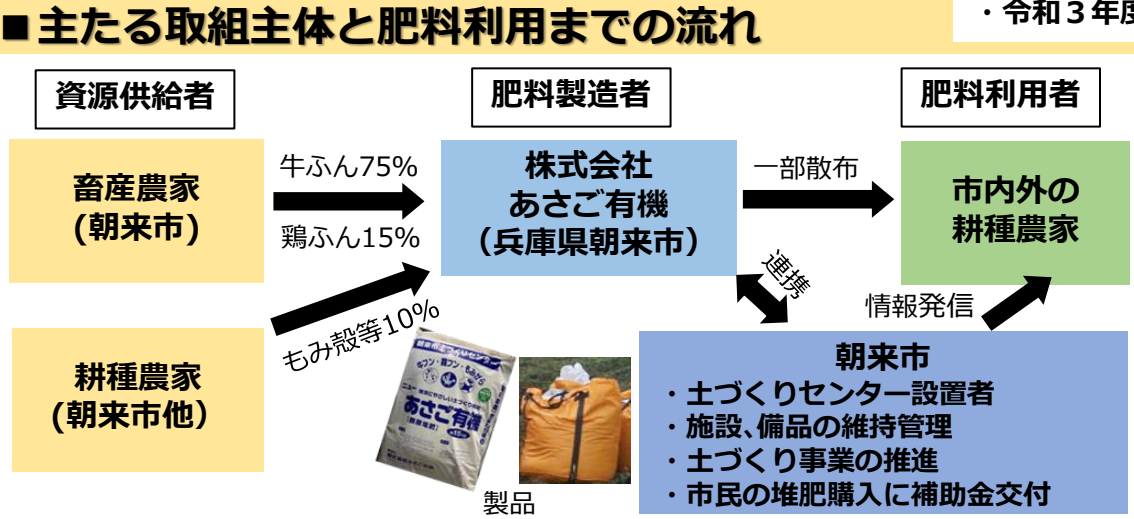
- ・平成17年度に朝来市が「自然環境との調和を目指す農業を土づくりによって推進する拠点」として土づくりセンターを建設し、第3セクター（株式会社あさご有機）に運営を委託。

取組の内容

- ・市内の畜産農家から密閉式の家畜排せつ物運搬専用トラックで原料を収集し、但馬牛の繁殖・肥育農家で発生した牛ふんを中心に、鶏ふん、もみ殻を混合。縦型スクリー式攪拌機を備えた堆肥化処理施設で、徹底した温度管理の下、60日以上かけて発酵・熟成。
- ・利用農家の要望に応じ、栽培履歴や収量を確認し、堆肥のコーディネートを行うなど、地域の農畜産物の生産を支える資源循環の拠点となっている。
- ・希望に応じ、マニュアルスプレッダーで堆肥散布を実施（令和4年度約48ha）

成果

- ・兵庫県堆きゅう肥共励会で知事賞を3度受賞(平成25、令和4、令和5年度)。
- ・令和3年度の岩津ねぎ品評会では、上位1～6位が当堆肥使用の生産者。



■今後の課題・取組

- ・限られた人数で運営しており、人手が必要な作業などもあるため、安定した人材確保が重要。
- ・施設の老朽化や効率的な作業に対応するため、施設の改修を検討。

発酵槽での攪拌・発酵

発酵槽での発酵促進

堆肥散布